

南小たば風通信 2018

平成30年8月31日（金） 第16号

いよいよ公開研究会です！

いよいよ来週の水曜日が公開研究会です。資料の印刷・丁合・製本などなど、教頭先生を中心に職員室の先生方にはお手伝いをいただきありがとうございます。齋藤先生・島村先生も検討に検討を重ね、指導案もできあがり、本時に向けて授業も順調に？始動していることと思います。毎日本当にお疲れ様です。もうひとふんばり！よろしく願いします。

前日・当日もみなさんには、いろいろな仕事を分担してお手伝いいただきます。最後まで、よろしく願いします。

《事後研の進め方について（60分）》

14:10～

- ① 授業者から（5分程度）
- ② 質問（全体で確認したいことなど）
- ③ 話し合い

討議の柱

- （1）単元の指導計画（ピクトグラムの活用や単元を通して意識させたい言語活動）が『主体的・対話的で深い学び』を実現できるものとなっていたか
 - （2）本時が『主体的・対話的で深い学び』のある国語科の授業となっていたか
- 《仮説》国語科の時間において、意図的・計画的に他者との関わりを位置付けることにより、新たな気づきが生まれ、自らの学びを見通し、広げ、考えを深めることができる。

※グループ協議の際に、適宜助言をいただきます。

- ・付箋を貼りながら、各グループで話を進めてください。
- ・最終的にグループでどんな話し合いがされていたか、3分ほどで話してもらいます。司会の方は話を進めながら、意見をまとめておいてください。よろしく願いします。

14:50～

- ④ 各グループの発表（3分） A→B→C→D

※ブロックごとの話し合いでは、「主査（指導主事）」からの助言は行いません。

15:10を めどに終了